

タイトル：『汐製菓会社の新作 82 バウムクーヘン』

登場人物

- ・ 汐（しお）（30代） - 汐製菓会社の社長。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、奇想天外なお菓子のアイデアを生み出す快活な性格。
- ・ 塩田（しおた）（30代） - 汐の秘書。真面目で心配性だが、実は大のお菓子好きで、汐製菓で働き始める。汐の発想に振り回される毎日。

シーン：汐製菓会社・社長室

（オフィスで、汐が次の新商品の企画を練っている。塩田はメモを取りながら困惑顔で汐の話に耳を傾ける）

汐…「次の新商品、驚きと甘さの融合…チョコとチーズの『チョコチーズバウムクーヘン』だ！」

塩田…「ええ…チョコとチーズですか？それは…甘いんですか？しょっぱいんですか？」

汐…「そこがミソだ！食べた人が『これは何だ！？』と驚くこと間違いなし！我が社の商品に求められているのは、このサプライズ感だ！」

塩田…「でも、社長。お菓子ってリラックスして食べたい方も多いと思うんですよね。驚きすぎるとリラックスできないかも…」

汐…「リラックスは他のお菓子がやってるだらう！我々は、『面白きことも無き世を面白く』がモットーだぞ！次は開発室に行って試作だ！」

塩田：「は、はい…（内心では心配そうに）また、お客様がびっくりしすぎて返品が増えたりしなければいいんですが…」

シーン②：試作キッチン

（キッチンで、汐と塩田が「チョコチーズバウムクーヘン」の試作品を手に取り、味見をする
場面）

塩田：「できましたね、社長。でも見た目は普通のバウムクーヘンと変わらないように見えませんが…」

汐：「そう、見た目は普通がミソなんだ！これがチョコとチーズの味なんて誰も思わないだろう？」

塩田：「そういうものなんでしょうか…（疑いながら一口食べる）あれ？最初は甘いけど、

後から塩気が…！これは…意外に美味しいかも？」

汐：「そうだろう！ほら、もう一口いってみろ！」

塩田：「ええ、こういうのクセになりそうですね。でも、やっぱり甘党としよっぱい派で好みに分かれそうですけど…」

汐：「塩田、全員に好かれる商品なんて面白くないだろう？印象に残るのが大事なんだ！」

（塩田が「さすが社長…」といったように半ばあきれたような、しかし楽しそうな表情で再度試作品に手を伸ばす）

シーン3：国内販売会

（人気の百貨店にて、汐製菓の「チョコチーズ
バウムクーヘン」の販売会が行われ、ブースに
はお客さんが集まっている）

若い女性（日本人客A）：「ねえ、これがあの
噂のやつじゃない？バウムクーヘンのチョコチー
ズ味だって！」

友人（日本人客B）：「チョコとチーズって、い
つたいどんな味なの？（興味津々で一口）あ
れ：なんか、最初は甘いのに、後からしょっぱ
くなる！」

サラリーマン（日本人客C）：「ちよつと気にな
る味だな：（一口）おお、何だこれ、甘いんだ
かしよっぱいんだか：でも悪くないな！」

年配の女性客D：「私はしつかり甘い方が好
きなんだけど、（一口）ん？でもこれはクセに
なるかもしれないわね！」

（ブースの賑わいが増し、SNS用の写真を撮る人、リアクションをする人などが次々と登場）

塩田：「社長、結構好評みたいですけど、やっぱり驚かれていますね：『こんな味があるなんて！』って、困惑している方も多いようです。」

汐：「見たか？我々の狙い通りだ！驚きと感動を提供するのが汐製菓の使命だからな！」

塩田：「…なるほど、社長は驚かせるのが好きなんですね。（苦笑）でも、このお菓子、意外とクセになるかも：私も気づいたらまた食べたくなっていました。」

（会場がさらに賑わい、お客たちが次々と試食しながら驚きの表情を見せる）

シーン4：国際試食会

（観光地で開かれる国際試食会。外国からの観光客も多く、ブースには世界中の観光客が次々と訪れる）

アメリカ人観光客（外国客）：「チョコとチーズが入ったバウムクーヘンだって？アメリカじゃありえない！（一口食べて）え、意外に美味しいじゃないか！」

フランス人パティシエ（外国客）：「これは日本ならではの創意工夫ですね。（一口食べる）なるほど…これは新しい発見です。甘みと塩気の絶妙なバランスが良いですね。」

韓国人観光客（外国客）：「わあ、日本のお菓子ってこうやって驚かせてくれるのが楽しい！（一口）これは癖になるかも！」

イタリア人女性観光客：「普段チーズは料理にしか使わないけど、（一口）うん、これはこれでアリかも！新しい体験だね。」

ドイツ人観光客 M：「チョコとチーズか…ドイツではこんなフレーバーは考えられないよ。でも、面白い発想だね！（一口）意外に美味しい！」

中国人観光客 T：「日本のお菓子は毎回驚きだよ！これは中国でも受けそう！」

塩田：「社長、皆さん興味を持ってくれているみたいです。これなら世界に通用するかも…！」

汐：「見たか、塩田！我々のアイデアがついに世界に響いているんだ！」

（会場が活気づき、外国人観光客たちが互いに感想を言い合いながらブースで写真を撮ったり、日本のスイーツについて話し合う姿が見られる）

シーン5：帰社後の反省会

（試食会を終え、オフィスに戻った汐と塩田。
塩田はメモを見ながら、汐に向かって成果報告をしている）

塩田：「社長、国内も国外も結構好評でしたよ。『面白い味』としてSNSでも話題になっていますし、写真映えもしてるみたいです！」

汐：「いいじゃないか！それこそが汐製菓の目指すところだ！」

塩田：「ただ…リピート率が少し心配ですね。最初は驚いて食べてくれますけど、続けて購入してくれるかは分かりませんし…」

汐：「いいんだよ、塩田。お菓子はその瞬間の楽しさが一番なんだ！記憶に残ること、それこそが我々の目標だ！」

塩田：「…さすが社長。私もすっかりハマってしまったみたいです。驚きと楽しさ、忘れられ

ない味…なんだか次の商品も気になってきました。」

汐…「よし、じゃあ次の新作も今までにない組み合わせでいくぞ！塩田、今度は何が面白いと思う？」

塩田…「（驚きながらも少しワクワクして）え…それなら、次はスパイスとフルーツとか…？」

汐…「おお、それは面白いかもしれないな！塩田もいいアイデア出すじゃないか！」

エンディング

ナレーション…「こうして汐製菓の『チョコチーズ味バウムクーヘン』は国内外で大きな話題を呼び、記憶に残るスイーツとして多くの人々に愛されるようになった

た。驚きと楽しさを届けるため、汐と塩
田の冒険はまだまだ続く……！」